

## 全国図書館大会参加報告

10月12, 13日に開催された「全国図書館大会東京大会」に参加しました。以下に報告します。

### 1 講演「世界の中の日本、日本の中の図書館」 by 寺島実郎（日本総合研究所所長・多摩大学学長）

- ・図書館は、その土地の文化のシンボル。…学ぶ努力を支えるのが図書館。
- ・今の日本は、中間層の貧困化が深刻。そのため、人々は、アクティブでなくなり、学ばなくなり、学べなくなっている。
- ・異次元の高齢化。図書館を訪れる高齢者は増える。→かつて学んだ知識だけでは生きていくのが難しい。知の再武装が必要。その時、図書館は単なる貸本屋ではいけない。
- ・アナログ性の大切さ…ひらめき、深まりにとって、配架された本が大切。
- ・これからの図書館には、発信力が必要。

### 2 分科会①「学校図書館」テーマ；図書館資料としてのマンガ

日本のマンガは海外で高い評価を受けている。アメリカ図書館協会は毎年、10代向けのおすすめマンガトップ10を公表しており、その中に日本のマンガが必ず含まれている。

<神奈川県立湘南高等学校>

学校図書館にマンガを入れることは、生徒にとって等身大の図書館を作ること。生徒になじみ深いメディアのマンガを蔵書とすることで、図書館が「特別な場所」から「日常的な場所」に代わっていく。

<福島県白川市立図書館>

公立図書館におけるマンガ資料の収集・提供は、他の図書館資料と比べると、十分行われてきたとはいえない。白川市立図書館は、概ね図書費の1割程度の予算でマンガを購入している。

<日本財団「これも学習マンガだ！」事務局>

「楽しみながら学ぶこと」を推進すべく、「学び」につながるマンガ作品を選出する日本財団「これも学習マンガだ！～世界発見プロジェクト～」は、これまで200作品を選出してきた。

### 3 分科会②「児童サービス」テーマ；一人一人のための児童サービス 子どもと本の架け橋プログラムを考える

<奈良県生駒市図書館>

質の高い児童書をそろえ、対象年齢の異なる5種類のブックリストを作成と園・学校を通じた全児童への配布、出前授業や定例行事、野外フェスタなど多彩な取組を実践。ボランティアも充実。

<横浜市中心図書館>

児童サービス5ヶ年計画に基づき、子どもたちに本を手渡すための事業を実施。他機関との連携。選定票（ブックレビュー）を活用した蔵書作りをしている。

大会を通じて、図書館（含学校図書館）の役割は、ますます重要になると感じました。十日町情報館では、読書週間（10・27～11・9）に様々なイベントを企画し、少しでも子どもたちに本を近づけることができるよう取り組んでいます。学校でも、文化祭・学習発表会が終わる時期です。ぜひ、読書を勧めてください。ブックトークや出前授業の申込みも受け付けています。